

九州大学海外派遣留学生 最終報告書		※ 帰国後 15 日以内に提出してください。
		※ 提出された情報は、海外留学HPに掲載します。(色のついた部分は掲載しません)
留学先大学名	上海交通大学 (国名: 中国)	
留学先学部名(またはプログラム名)	International MBA (通称 IMBA)	
留学期間	22年3月 ~ 22年7月	
学部/学府・年次	経済学府産業マネジメント専攻	1年次~ 2年次
留学により卒業または修了が遅れる見込みの有無とその期間	有・ <input checked="" type="radio"/> (期間: )	
遅れる見込みの方はその理由を書いてください (NO.に○印をつける)	1. 4年次に留学したため 2. 単位が不足するため 3. 新卒で就職したいため 4. その他(具体的に記入)	
卒業を遅らせないためにどのような配慮や工夫をしましたか?		
進路の予定	1. 就職 ( 時期: 4月から / ( )年 ( )月から ) 2. 大学院進学( 大学 学府/研究科 ) 3. その他(具体的に: )	
前項で1と答えた方は、就活時期と方法を教えてください(予定を含む)		
進学先や就職先の選定に、留学経験が影響しましたか?		
留学経験は就職活動の際に役立ちましたか?		
<b>1. 留学先大学について</b>		
授業(カリキュラム等)の概要について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一科目が午前中(8時30分~12時)、2週間で完結する。2週間の授業が終わる翌週には基本的に授業はないが、決まって火曜日が試験日である。(一科目が集中講義のようにしているのは、教授が世界各国からやってくる為。)</li> <li>・授業は英語であり、予習・復習はかなりの量がある。</li> <li>・基本的に毎授業、グループワーク、プレゼンがある。グループメンバーは毎回異なる。授業、グループワークを通して発言が求められる。</li> <li>・各授業にTAが選出されており、テキストの準備や教授からの連絡事項を知らせてくれ、授業の進行に関して疑問等あれば相談にのってくれる。</li> </ul> <p>※参考までに受講した講義を示す。(うち下2つは聴講。)</p>	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Multinational strategic management</li> <li>• Date, Model and Decision Making</li> <li>• Business Ethics and CSR</li> <li>• International Marketing Management</li> <li>• Macroeconomics and Public Policy</li> <li>• Management Accounting</li> <li>• Corporate finance</li> </ul>
<p>留学先大学のサポート体制について (語学面／勉学面／精神面／住居・生活面など)</p>	<p><b>【語学面】</b>          上海交通大・本科による語学レッスンがあるが、日程が午前や午後と流動的でIMBAの学生が履修するのは時間的に難しい。ただ、外部のプライベートスクールと比較すると割安なうえに、講師陣、語学学校に通う生徒の質も良いが、本格的に中国語を身につけたい方は、別途家庭教師をつけるか言語交換パートナーを見つけるとよい。</p> <p><b>【勉学面】</b>          MBA校舎の図書館、本科の図書館とも夜まで(凡そ10時)まで利用できる。また、交通大専用の情報検索サイトも利用できる。</p> <p><b>【精神面】</b>          留学生にはライフチューターがつくので、事務的な事から買い物まで何でも頼むと相談にのってくれる。彼らとは留学前から連絡を取ることができるので、幾分か不安を払しょくできる。</p> <p>MBAオフィスには今年度から留学生担当のアメリカ人オフィサーが配属されたので、以前より目の行き届いたお世話してくれると期待する。</p> <p><b>【住居】</b>          寮には守衛さん、寮内には日々定期的に掃除する掃除のおばさん、寮全体の管理人がいて安心である。</p> <p><b>【生活面】</b>          留学生課には日本語ができる中国人の事務員さんがいらっしゃるのので、事務手続き、病院関係の情報を伺う事ができて安心である。</p>

留学先大学に対する感想

- ・中国人30数名と留学生10数名で構成されるクラスの中で、多くのグループワークやディスカッションを通して、お互いをよく知るきっかけが多々あったように感じる。
- ・また授業以外に、元ロンドン市長や早稲田大学の特別顧問といったゲストスピーカー招いて、中国経済等の講演を聞く機会やフィールドトリップと称した、産業パークや中国企業を訪問する機会にも恵まれた。
- ・留学生課では事務的手続き等、様々な相談にもものってもらい、比較的快適な留学生生活を過ごせたように感じる。
- ・この大学は6つのMBAコースから成り立ち、他のMBA学生と知りあう機会もあり、非常に多種多様な人々に出会うことができる。
- ・IMBAの学生は3年以上の職務経験を持つ、フルタイム学生である。学生は各々インターンシップや個人研究、趣味の時間にあてるなど、グループワークの為に共通の空き時間を作ることが難しいので、午後の時間の使い方に工夫がいる。

同じ大学への留学を希望する人々へのアドバイス

- ・自分次第(要求を上手く主張できるか等)で多くの可能性がある派遣先であると思います。知識等の勉強以上に、現地人の生活状況やトレンド、現地化の重要性を肌で感じとることができました。クラスメイトも国際感覚の豊かな学生が多く、様々な目的の為にIMBA にやってきた学生とディスカッションやおしゃべりをする中で、彼らが一体何を考えているのか、価値観は何かなど、様々な気づきがあります。共通言語が英語ではあるけれども、基礎中国語でも中国語が話せればより密なコミュニケーションがとれると感じます。
- ・世界各国から招待される教授による授業以上に、ここで気づく文化的差異の存在やネイティブとの人的ネットワークは何物にも代えがたいです。利害関係のないクラスメイトだからこそ、この関係はこれからも続いていくと期待しています。
- ・日系企業が多く集まる上海という場所柄、また有名大学として名を連ねる上海大学交換留学生であるというアドバンテージ、QBSもしくは九州大学同窓生のネットワークを活用し、お陰さまで日ごろ福岡では出会えないような方々にお会いでき、お話を伺う機会に恵まれ非常に良い刺激を受け、勉強になりました。

<b>2. 事前手続き(ビザ申請など)</b>	
ビザの種類	中国訪問査証(F 査証)
ビザ申請先	中華人民共和国駐福岡総領事館
必要書類、手続き方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・証明写真一枚 (3×4cm)</li> <li>・JW202 表と入学許可書オリジナル、コピー各一枚 ↑上海交通大学より送付される。</li> <li>・記入済の《査証申請表》</li> </ul>
手続きに要した時間	・申請後4営業日後に取得できる。受取人は誰でもよい。
その他必要な事前手続き	・特になし。
<b>3. 日常生活</b>	
日常生活の概要、感想	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内の寮に住んでいた為、近くにスーパーや軽食屋、レストランがあり便利であった。学校から徒歩15分で地下鉄に着く。このエリアには高級デパートも立ち並び、ライフスタイルの強弱が激しく、選択肢は豊富と言える。</li> <li>・午前中はMBA授業、午後は中国語、もしくは企業訪問等に当てていたため、毎日があっという間に過ぎたが充実したものであった。</li> <li>・学内にランドリーや食堂、生協があるので忙しい中でも必要最低限の生活ができる。</li> <li>・大学の門に警備員、寮にも警備員、日中は寮を管理している陽気な中国人の事務員の方が居るので比較的安心して過ごせる。</li> </ul>
生活費(月額)及びおおよその内訳(円換算で)	<p>生活費計 5~7万円/月</p> <p>(生活費内訳)住居費:37,500円、光熱水料:3000円、通学費:—円、食費:不明円、電話代:1500円、インターネット代:—円、書籍代:2000円 その他:(具体的に)</p> <p>学費・寮費以外に大学へ納入するもの(あれば) —円 (徴収された費用の名目を具体的に: )</p>

日本から持参した方がよいもの (PCや変圧器等の要不要も)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常備薬</li> <li>・パソコン</li> <li>・電子辞書</li> <li>・洗濯ネット</li> </ul>
これから留学する人への、日常生活(治安対策を含め)に関するアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上海は比較的安全ですが、日本で生活しては起こり得ないような事柄も起こり得るかもしれないと思い、いつも気を引き締めている事が肝心です。</li> <li>・特に交通事情が日本と違うので、道路の横断には細心の注意を払う、タクシー乗車時は助手席の窓を全開しない(すり防止)など注意が必要です。</li> </ul>
お金の管理や受け取り(銀行口座開設や海外送金、またはクレジットカード持参など)について、貴方の留学先国で最も適当な方法を教えてください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入国後落ち着いたらすぐに口座開設をお勧めします。外国のクレジットカードを受け入れないスーパー、レストランもあります。また、航空券の予約も外国のクレジットカードが使えない場合があります。</li> <li>・PlusマークのあるATMから人民元が引き出せます。</li> <li>・ATMは基本的に24時間いつでも使えます。</li> </ul>
<b>4. 住居、生活環境</b>	
住居の種類(○印をつける)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<input checked="" type="radio"/> ・ホームステイ ・民間アパート ・その他( )</li> </ul>
住所／電話番号	<p>住所: SIE, SJTU(Tao Li Yuan) 402, No.1954 Hua Shan Road, Shanghai China  上海市華山路1954号 国際教育学院 留学生宿舍9号楼</p>
費用(月額)	37, 500円
どのようにして見つけたか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通大学からの紹介。</li> </ul>

<p>次期留学生に推薦できるかどうか、およびその理由。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス、トイレ共同、台所がないなど、日本と比較すると不便なところもありますが、安全の面や、寮内で外国人とコミュニケーションを図れる事や、学校から近いという立地条件などを考えるとお勧めです。</li> <li>・上海市内平均と比較しても割高だが、半年留学生がアパートの賃貸は難しいとのこと。</li> </ul>
<p>留學生活を送る上で次期留学生に伝えたい地域情報、生活情報</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上海はみどころ満載で、全てんみて回るのに5カ月では足りないくらいです。また万博の影響で、住民マナーの向上や公共インフラも充実してきており便がよくなってきていると感じます。</li> <li>・日本人駐在員、その奥様向けのフリーペーパーが数多くあります。基本的には日本食やホテルにあります。中でも、Biz presso (Whenever の姉妹紙)は中国進出日系企業ニュースや中国でのホットなニュースがのっていて、上海の動きを知ることができます。</li> </ul>

#### 5. 準備段階や留學中に役に立ったウェブサイト

サイト名	URL	コメント
Whenever	<a href="http://www.shwalker.com/top/">http://www.shwalker.com/top/</a>	・レストラン、買い物、旅行、ニュース等様々な情報が満載。
Explore	<a href="http://sh.explore.ne.jp/">http://sh.explore.ne.jp/</a>	・同上
上海ガイド	<a href="http://www.shanghai-guide.jp/shanghai_traffic/ferry_waitan.html">http://www.shanghai-guide.jp/shanghai_traffic/ferry_waitan.html</a>	・同上
ぐるなび	<a href="http://www.gnavi.co.jp/shanghai/jp/">http://www.gnavi.co.jp/shanghai/jp/</a>	・レストラン情報。
火车	<a href="http://www.huoche.com.cn/">http://www.huoche.com.cn/</a>	・列車情報

#### 6. その他の特記事項

<p>6. その他の特記事項</p>
--------------------

